

# 議会改革度調査2013

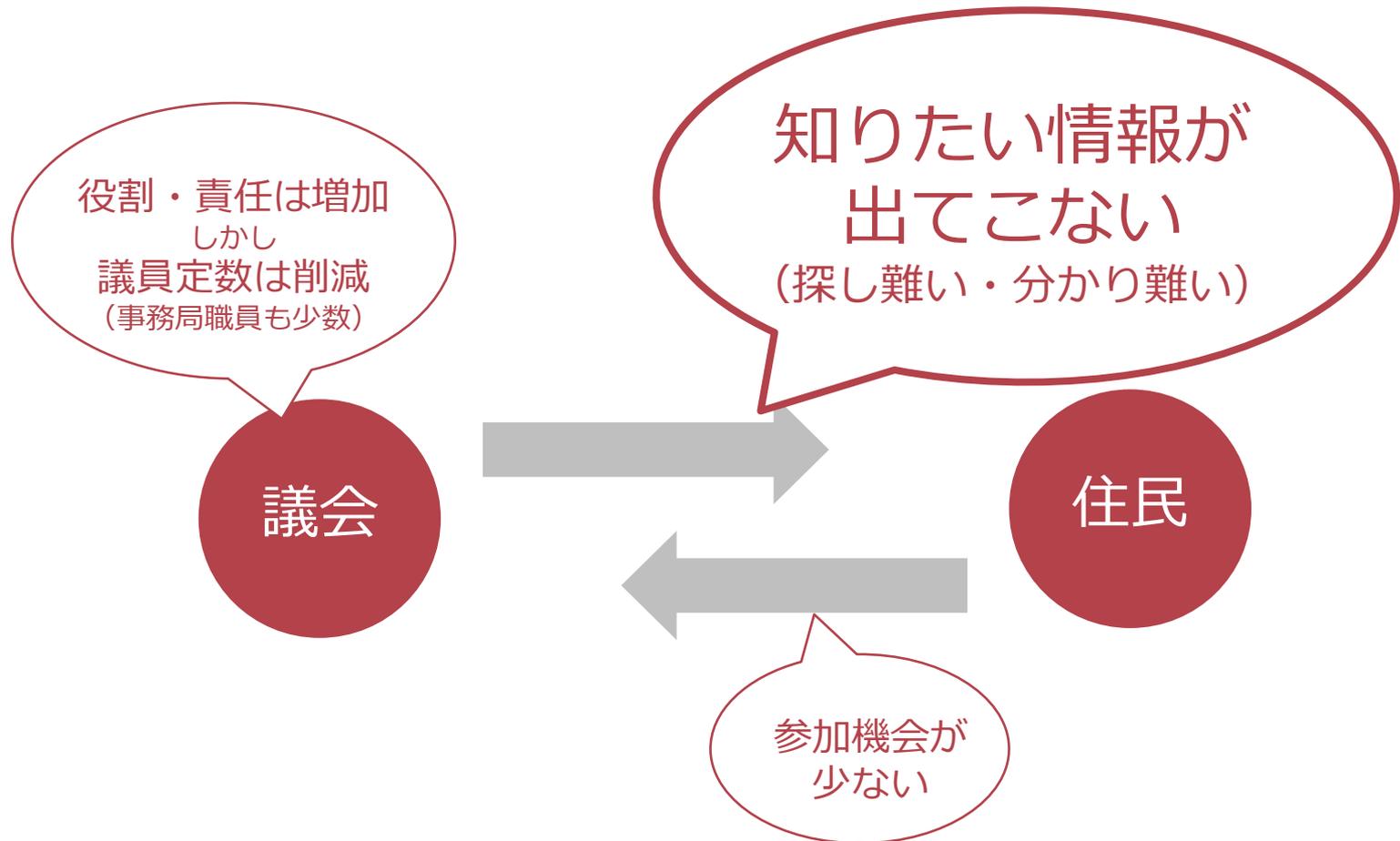
## ICT活用 ～会議録編～

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査のテーマ別分析。  
今回は会議録などの情報公開をテーマに紹介します。

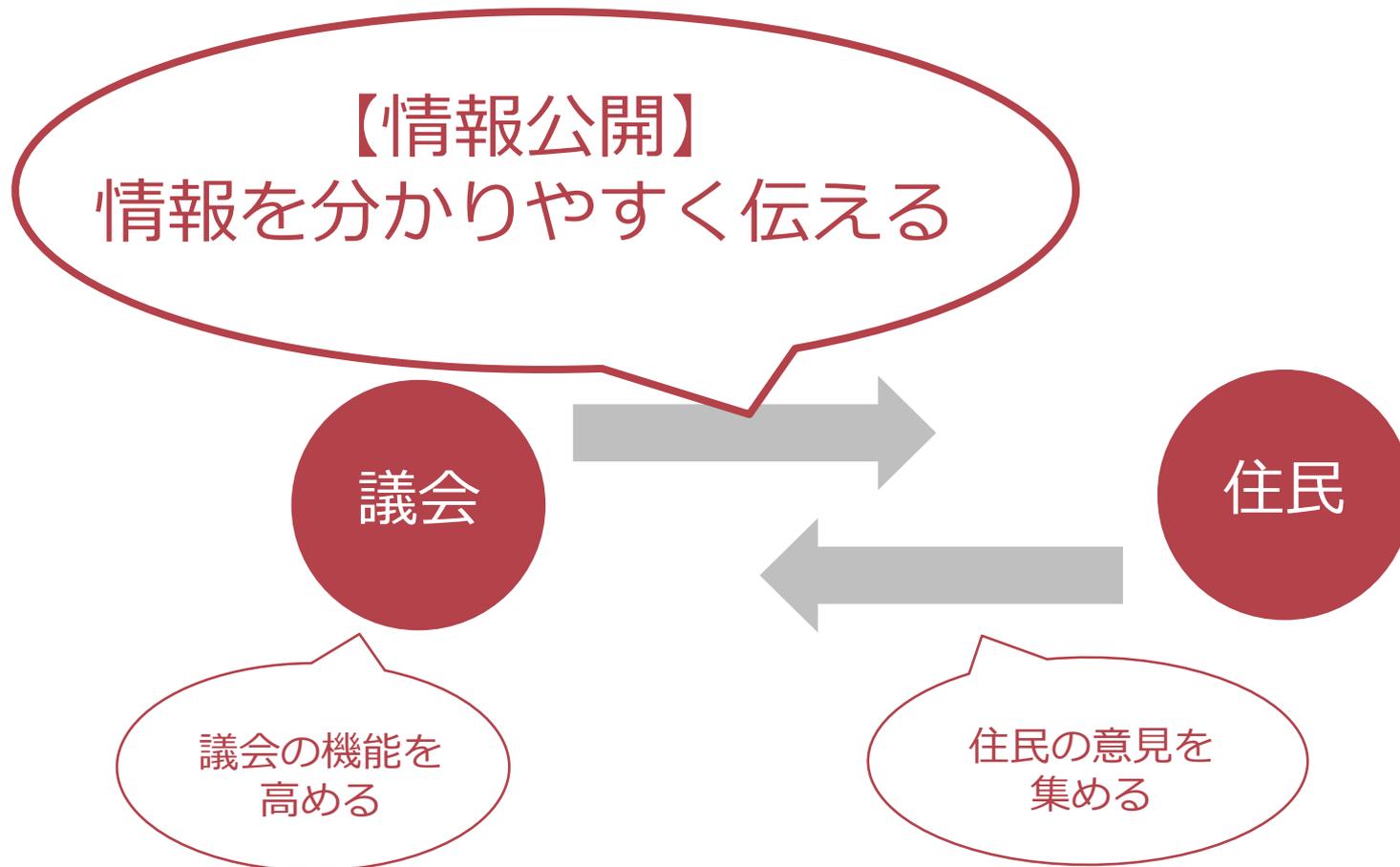


早稲田大学マニフェスト研究所  
議会改革調査部会

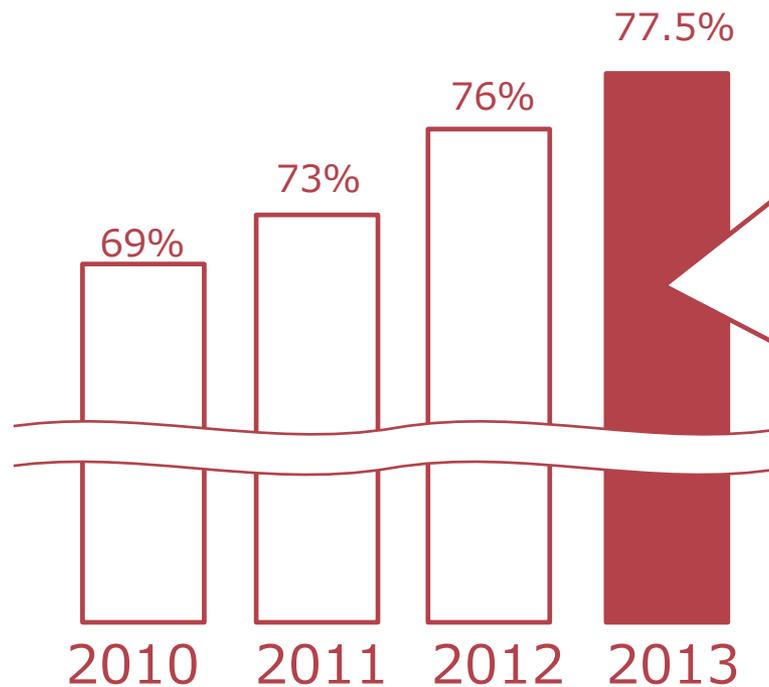
# 地方議会を取り巻く状況



# 議会に求められることは？



# 情報公開はまず会議録から



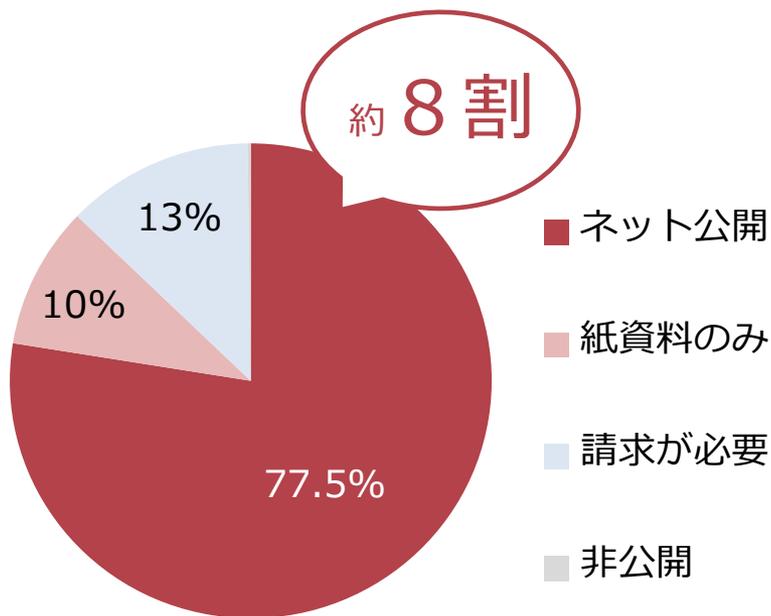
ネット上で  
会議録を  
公開している議会は  
約 **8割** に。

※該当する質問に回答のあった1,438議会のうち、請求が無くとも本会議の会議録をインターネットで公開していると回答した議会の割合。

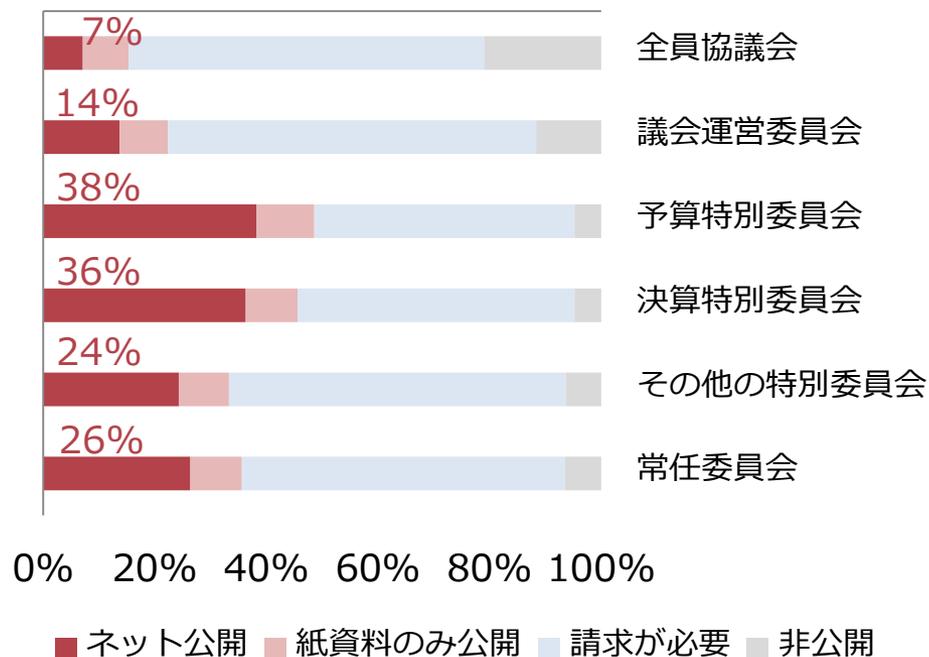
# 情報を伝える：会議録の公開

本会議の会議録は約8割弱の議会でインターネット上で公開している。  
しかし、本会議以外の各委員会では公開が進んでいない。

＜本会議の会議録公開状況＞



＜各委員会の会議録公開状況＞



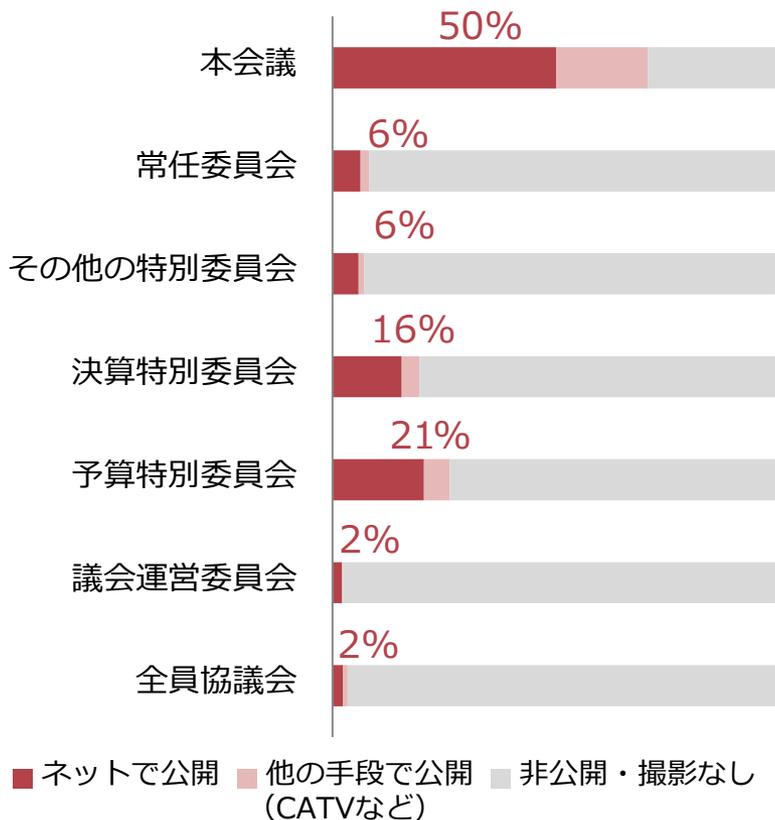
※インターネットと紙資料両方で公開している場合はインターネットに含めた。



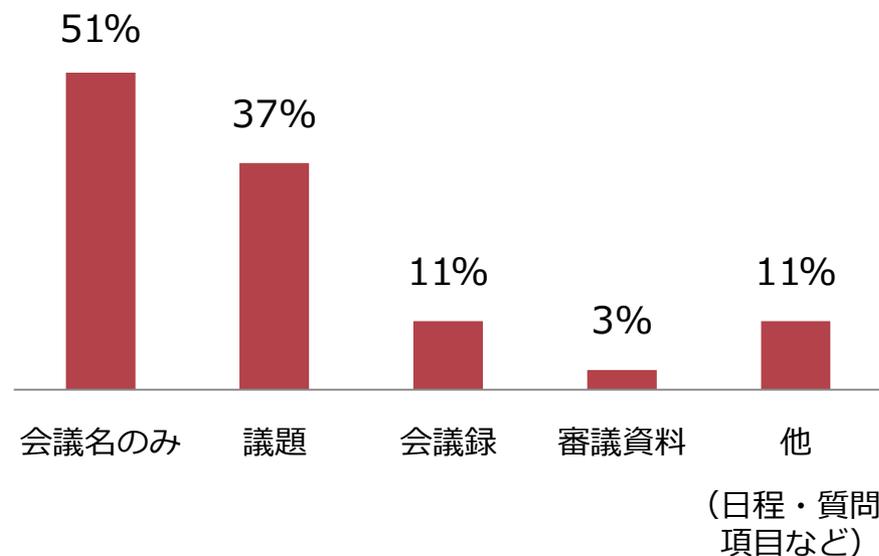
# 情報を伝える：会議映像の公開

短期間で公開しやすい動画をインターネット上で公開している議会もあるが、会議録と同様に本会議以外は公開が進んでいない。さらに、映像には会議名や議題が表示されている程度で、会議録などと連動しているのは少数である。

## <会議映像の公開状況>



## <資料や会議録との連動(本会議)>



※本会議の映像をインターネットで公開していると回答した議会が対象。(複数回答あり)

# 情報を伝える：会議映像の公開

議会の様子をそのまま流すだけでなく、議員の写真や質問項目を掲載したり、会議録と連動させたりして分かりやすくしている。（例：逗子市議会、横須賀市議会）

## 質問者を表示（逗子市議会）

逗子市議会 議会中継（録画）

会期日程選択

開催年：平成26年

定例会 2月 6月 9月

臨時会 3月 4月

発言者と発言内容

発言者	発言内容	映像
長島有里議員	1 高齢者の雇用政策について 2 情報リテラシー教育について 3 空き家対策について 4 オープンデータ活用の推進について	00:55:00
松本寛議員	1 新総合計画について 2 逗子の魅力（海・山・山手して人）について	01:02:12

氏名・写真・質問項目など

## 発言部分をハイライト（横須賀市議会）

【平成26年 第2回定例会（6月）-06月27日-03号】

前会議 次会議 前日程 次日程

P.246 ◆ 11番(小林伸行)

発言 ◆ 質問

◆ 11番(小林伸行) 小林伸行です。議案第52号横須賀市いじめ等の対策に関する条例制定について、由を述べたく、討論いたします。本議案については、条例の趣旨や内容の大枠には反対ではありません。ただし、教育福祉常任委員会での他の委員からの指摘を伺い、あるため、本会議において修正したほうが良いと確信しまして、委員は原案に反対いたしました。特に指摘の集中した第1条については、市による財政措置をいかに絞った上で、努力規定ではなく、義務規定へと修正する案を考えて、しかし、委員会での採決を踏まえ、賛同者を得られず、するのは難しいと判断しまして、原案に反対いたしました。（注）

映像で流れている部分がハイライト表示に

※下の「VOD」マークを押すと発言の最初から、右側の本文の行を押すとその行の最初から映像が表示されます。

発言者	発言内容	映像
P.246 ◆ 11番(小林伸行)		1
P.246 ○ 議長(板橋衛)		0
P.246 ◆ 2番(大村洋子)		0
P.248 ○ 議長(板橋衛)		0
P.248 ◆ 12番(藤野英明)		0
P.252 ○ 議長(板橋衛)		0
P.252 ◆ 8番(上地克明)		0
P.253 ○ 議長(板橋衛)		0

逗子市議会：<http://www.discussvision.net/zushisi/2.html>

横須賀市議会：<http://gikai02.kaigiroku.jp/kaigiroku/cgi-bin/WWWframeBase.exe?A=frameBase&USR=kanyoksv&PWD=&L=1&S=31&Y=>



# そもそも、会議録はなぜ必要なのか？

会議録は地方自治法第123条でその作成が義務付けられている。  
しかし、その開示については明示されていない。

ところが本調査によると回答頂いた議会の約8割がネット上にも会議録を公開している。  
そもそも「何のために」「誰のために」会議録を公開しているのか？

地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担わなければならない、その議決機関として議会が設置されている。

すなわち、議会で議論される（された）ことは、議決結果（結論）だけでなくその議決に至る過程がどうであったかも主権者である住民と共有されることは住民自治を成熟させるために極めて重要である。

したがって、会議録が自由に閲覧できる環境を整えることは必然といえる。  
ただし、行政用語や議会運営は非常に専門的であるため、主権者である住民にとって「わかりやすさ」「伝え方」「掲載までのスピード」は工夫されなければならない。

# 現行の会議録の課題

- ・ 掲載までのスピードが遅い。
- ・ 議案名、議決結果、会議録、会議資料、動画がバラバラに掲載されているため、わかりづらい。
- ・ 過去の会議録から、新たな政策提言・政策立案への発展が少ない。  
(過去の資料や当時の質疑内容などを参考とした質問や政策提案がなく、過去と同様の質問をする議員も多い)
- ・ 文字のみでは方言や言い回しなどがそのまま掲載されるため、読みづらい。
- ・ 賛否結果のみ公開されても「なぜ賛成したのか」「なぜ反対したのか」その理由が不明。

# 提 言

- ・ 議会終了後、掲載までの時間は1週間以内を目標に！  
それには、先行的に動画を速報版として公開し、その後、文字化した会議録を速やかに公開する。
- ・ ICTを活用して、議案名、議決結果、会議録、会議資料、動画がリンクし、分かりやすいものにする。
- ・ また、スマートフォンやタブレット等でも閲覧できるようにすることやクラウドシステム等の活用も行う。（緊急時のバックアップにもなる）
- ・ さらに、議員の政策立案に役立てるため、他の議会の会議録も含めて検索できるシステムが望ましい。